

長良川流域
SDGs教育旅行
ワークブック

長良川×探究

教師用解説書

長良川×探究 教師用解説書

初版発行 2023年12月
発行 長良川流域観光推進協議会(岐阜県、岐阜市、関市、美濃市、郡上市)
企画・制作 地域連携DMO NPO法人ORGAN、株式会社トモノカイ
お問合せ NPO法人ORGAN 〒500-8009 岐阜県岐阜市湊町45
Tel:058-269-3858 Email:info@onpaku.asia

本書の内容は、国連、その職員または加盟国の見解を反映するものではありません。
国連の「持続可能な開発目標」については、ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>
本書の全部または一部を無断で複写・複製することは、
著作権法に基づき禁じられています。
本書の解説書・指導書・ワークブック並びにこれに類するものの無断発行を禁じます。

はじめに

目次

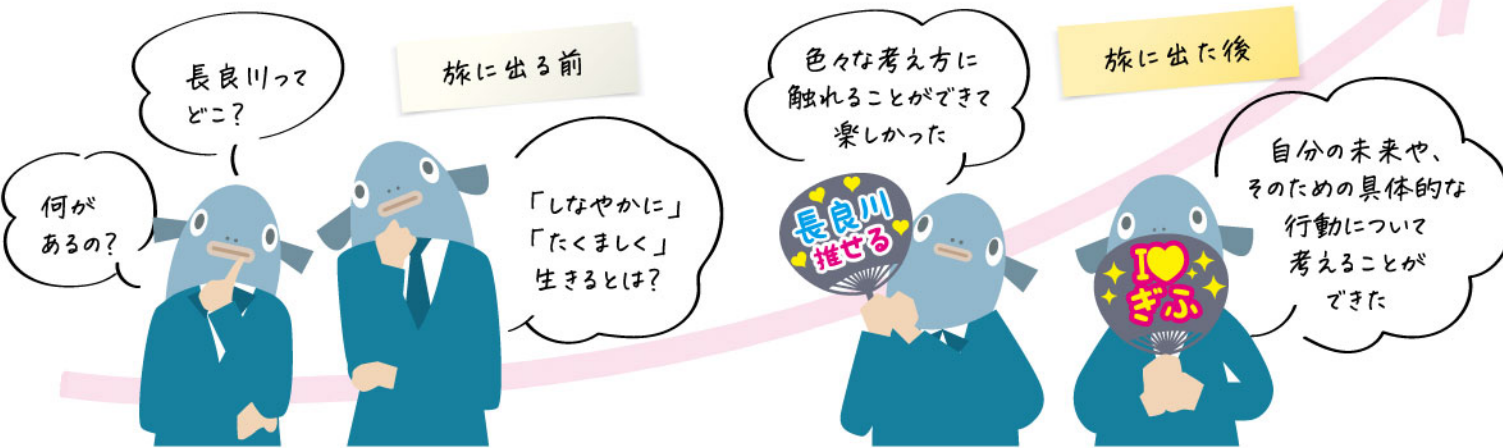
教師用解説書でできること／『長良川×探究』コンセプト	2
生徒用ワークブックの流れ／サポート一覧	3
「長良川流域SDGs教育旅行」実施までの流れ／ 〈旅マエサポート〉〈旅アトサポート〉	4
〈旅ナカサポート〉サステイナブル・ツーリズム体験詳細情報	5
コマ数別 授業モデルのパターン紹介	6
ワークページの使い方／授業案〈標準コースの例〉	7

ページ数の表記について

本書では、それぞれのページ数を示す際、下記のように区別して表現します。

生徒用ワークブック ①ページ
教師用解説書 1ページ

『長良川×探究』で期待できる生徒の変容



『長良川×探究』のコンセプト

探究

教材全体が探究の基本的な流れに沿った内容となっています。自分なりに考えて答えを見つけ出すようなワークを用意しているため、長良川流域を舞台にした探究学習を実現できます。

SDGs

「世界の持続可能な観光地100選」にも選出された長良川流域でのサステイナブル・ツーリズムを体験できるため、持続可能性にも着目しながら、SDGsについても体感し学ぶことができます。

キャリア教育

長良川流域で様々な生業をもつ「野生の起業家」へのインタビュー記事や、実際に聞いた話から、彼らの在り方生き方、考え方に触れることができ、キャリア形成という観点でも学びを得られます。

教師用解説書でできること

● 旅程を決める際のサポートに!

この解説書は、長良川流域での旅に向けて、実際に旅程を組むために役立つ情報を記載しています。

- 旅マエに依頼できるオンライン講演の情報
- 旅ナカで体験できるサステイナブル・ツーリズムの詳細情報
- 旅アトワークの発表から講評までのサポート情報

事前の下準備から、最後のまとめまで、全体を見通して設計が立てられます。

● 実際に指導を進める際の参考に!

この解説書は、学習指導解説書のような要素も兼ね備えています。

- 授業コマ数別授業パターンの紹介
- ワークページの使い方
- 時間配分を示した授業案 など

実際に授業で用いる際に役立つ情報を記載しています。授業実施にあたり、計画の策定や準備に、ご活用いただけます。

生徒用ワークブックの流れ／サポート一覧

生徒用ワークブックの紙面



②③ページ はじめに

旅の舞台となる長良川流域の概要、4市の特徴について、地図とともに確認することができます。



④⑤ページ 長良川流域とサステイナブル・ツーリズム

長良川流域のサステイナブル・ツーリズムについて、基礎的な知識を得ることができます。また、「野生の起業家」を「しなやかさ」「たくましさ」という観点から整理します。



⑥～⑬ページ 流域の4市を知ろう!

長良川流域4市をそれぞれ見開き1ページで紹介しています。各ページには、市の特徴に加え、サステイナブル・ツーリズム体験情報と、「野生の起業家」へのインタビューを掲載しています。同ページのQRコードからより詳しいWeb記事にアクセスできます。



⑭⑮ページ もっと旅のイメージを膨らませよう

4市を跨いだサステイナブルなモデルコースを紹介しています。また、⑥～⑬ページでは紹介しきれなかった「野生の起業家」の記事や、情報収集に役立つwebサイトのリンクなどを掲載しています。



⑯～⑲ページ 学びの準備をして旅に出よう!

旅マエと旅ナカで取り組むワークのページです。旅に出る前に情報収集やインタビューの準備などを進めておき、現地ではその答えを確かめながら、メモとして書き込めるような形式となっています。



⑳～㉓ページ 旅を振り返ろう!

旅に出た後に取り組む振り返りのワークを用意しています。「体験」「人」「自分」という大きく3つの異なる観点から旅を振り返り、最後の仕上げを行います。

活用できるサポート

旅をもっと楽しく
学びあるものに!

選べる
事前オンライン
講演

⇒ 4ページへ

旅程を組む際の
参考に!

具体的な
サステイナブル・
ツーリズムの
詳細情報

⇒ 5ページへ

最後の振り返りに!

ワークの
発表から、
講評まで
お任せ

⇒ 4ページへ

旅マエ

旅ナカ

旅アト

サポート詳細情報

1 気になる
講演テーマや
体験を
ピックアップ

2 問い合わせ/調整

オルガン
窓口:NPO法人ORGAN
観光庁登録地域連携DMO
(観光まちづくり法人)
✉ info@onpaku.asia
TEL:058-269-3858
(平日9:00~18:00)

3 ご要望を踏まえ
NPO法人ORGANより
プランをご提案

4 現地視察の
受け入れ
体験 学習内容
エリア概況
(交通、宿泊、食事等)

5 スケジュールや
予算に応じて
内容を最終決定

旅マエサポート
 長良川流域に関する
オンラインレクチャー
 「野生の起業家」による
オンライン講演

旅ナカサポート
 体験のコーディネート
旅アトサポート
 「野生の起業家」による講評
 NPO法人ORGANによる講評


「長良川流域SDGs教育旅行」実施までの流れ

下記の流れで企画段階から実施までをサポートします。

旅マエ
サポート①


長良川流域に関するオンラインレクチャー
「長良川STORY」や「清流長良川の鮎」の動画等を活用し、長良川流域に関する基礎的な知識をレクチャーします。

旅マエ
サポート②

「野生の起業家」によるオンライン講演

川漁師・川漁体験企画/岐阜県岐阜市
ひらく けんたろう
平工 顕太郎 さん


木造和船と伝統漁法を操る若手川漁師の清流文化を次代につなぐ挑戦
主な内容>長良川の生態系や川漁文化に関する解説に加え、和船を活用したツーリズム事業や六次化など、保存継承のための多様な取り組みについて「SDGs」の観点からお話頂きます。

こんな場合に
おすすめ!
▶川漁をきっかけに生物多様性について学びたい
▶資源の保全と活用という観点からSDGsを学びたい

守るべきものがあるから未来へ投資
世界から人が集まる刃物屋さんの作り方

刃物問屋代表/岐阜県関市
よしだ かつひろ
吉田 和弘 さん


主な内容>刃物問屋の3代目店主・吉田和弘さんが家業や地場の産業を受け継ぐために、どんなリスクをとり、新しい地平に切り込んできたのか。関鍛冶の伝統や産業観光の可能性に触れながらお話し頂きます。

こんな場合に
おすすめ!
▶地域の資源を活かして世界とつながりたい
▶新しいビジネスを作りたい

古い町並み×和紙で地域の魅力UP!
和紙でまちをワクワクさせる、とは?

製紙会社代表/岐阜県美濃市
つじ こういち
辻 晃一 さん

主な内容>和紙産地に残る古い町並みで製紙会社代表・辻晃一さんが手掛ける革新的なまちづくりについて、「地域で生きていくこと」や「町を面白くすること」をテーマにお話し頂きます。

こんな場合に
おすすめ!
▶伝統を活かしたまちづくりについて知りたい
▶古民家リノベーションや遊休不動産活用に興味がある

地域に伝わる伝統着をアップデート
根源から「エシカル」を見つめ直す

ファッション・ブランド代表/岐阜県郡上市
ひらの かおり
平野 馨生里 さん

主な内容>地域の伝統着をベースにハイセンスなアパレルブランドを展開する平野馨生里さん。移住、たつげとの出会い、持続可能性への挑戦など、多様な選択や取り組みをテーマにお話し頂きます。

こんな場合に
おすすめ!
▶「エシカルファッション」について学びたい
▶移住や里山での暮らしに興味がある

旅アト
サポート

①生徒各自でワークをすべて進める
②発表をする箇所を決める
③講評の形式/日程などを決める
④講評当日:野生の起業家/ORGANより講評
⑤講評後、振り返りなどを入れてもOK



他にも「伝統工芸」ものづくり「川漁・狩猟」食「まちづくり」など多様なテーマで講演のコーディネートが可能です。まずはお気軽にご相談ください。

〈旅ナカサポート〉サステイナブル・ツーリズム体験詳細情報

日本一の提灯の産地で
伝統を活かした体験観光について学ぼう

体験-岐阜1
⇒本冊 ⑥ページ

川が紡いだ岐阜の伝統を
まるっと体験提灯職人が考えるおもてなしとは?



会場 長良川うかいミュージアム
川原町の古い町並み
定員 最大40名/回 ※入替可能
所要時間 絵付け=60分
まちあるき=45分
団体食 弁当可/周辺店舗紹介可
備考 大型バス駐車可

体験の流れ
①提灯職人、観光ガイド、鶴岡観覧船船頭の山下章さんによるトーク
②提灯の絵付け体験
③古の川湊・川原町まちあるき

「伝統」って重いものですか?
鶴匠さんのお仕事の「今」を覗こう

体験-関1
⇒本冊 ⑧ページ

鶴とともに暮らして1300年!
伝統を背負う鶴匠の、軽やかな日常



会場 鶴の家足立
小瀬鶴飼
定員 最大60名
所要時間 180分(待ち時間含む)
団体食 鶴の家足立/他、弁当可
備考 大型バス駐車可
鶴飼観覧=5月~10月

体験の流れ
①足立家18代目当主・陽一郎さんの鶴匠トーク
②鶴との触れ合い&小瀬鶴飼観覧

和紙職人の世界にふれ、
持続可能なものづくりの可能性を考えよう

体験-美濃1
⇒本冊 ⑩ページ

和紙そのものを作品に。
和紙づくりから学ぶ、伝統の進化



会場 ワラビーランド
美濃和紙の里会館
定員 最大40名
所要時間 講話・見学=60分
入館・紙漉き=60分
団体食 弁当可/周辺店舗紹介可
備考 バス降車後、5分程度徒歩区
間有、地点間移動:約5分

体験の流れ
①和紙職人・千田宗統さんの工房見学と
和紙アートまみれの宿「warabee Land」でのトーク
②「美濃和紙の里会館」で手漉き和紙の体験

山間の町は起業家のゆりかご
水とおどりの城下町で、できるかも?の種を見つけよう

体験-郡上1
⇒本冊 ⑫ページ

「好き」を極めて仕事を作る!郡上八幡の
歴史と「小商い」を巡る町並みツアー



会場 郡上八幡城下町
郡上木履~郡上八幡博覧館
定員 要調整
所要時間 コースにより調整可能
団体食 レストラン大滝苑他
備考 大型バス駐車可
(有料/条件により無料有)

体験の流れ
①下駄職人・諸橋有斗さんの店舗で
実物の踊り下駄に触れる
②郡上八幡の町並み散策 & 郡上おどり体験

どんなことをしている?
川漁師の仕事から地域の未来を考えよう

体験-岐阜2
⇒本冊 ⑥ページ

木造和船と伝統漁法を操る若手川漁師の
清流文化を次代につなぐ挑戦



会場 長良川うかいミュージアム
ミュージアム前河原
定員 最大60名
所要時間 60分
団体食 弁当可/周辺店舗紹介可
備考 大型バス駐車可

体験の流れ
①長良川最年少漁師・平工顕太郎さんの
SDGsトーク & 川漁見学
②長良川うかいミュージアム訪問

体験も市場も新しく創る!
老舗刃物店3代目の、あふれる「チャレンジ精神」に触れよう

体験-関2
⇒本冊 ⑧ページ

守るべきものがあるから未来へ投資
世界から人が集まる刃物屋さんの作り方



会場 刃物屋三秀
関刃物ミュージアム
定員 要相談/回 ※入替可能
所要時間 60分~120分
団体食 弁当可/周辺店舗紹介可
備考 大型バス駐車可

体験の流れ
①刃物屋三秀・吉田和弘さんによる刃物トーク
②25・26代刀匠藤原兼房による鍛錬実演と体験

伝統工芸をキーにして、
まちを活性化する取り組みを学ぼう

体験-美濃2
⇒本冊 ⑩ページ

古い町並み×和紙で地域の魅力UP!
和紙でまちをワクワクさせる、とは?



会場 Washi-nary(和紙ショップ)
うだつの上がる町並み
定員 最大40名
所要時間 20分(調整可能)
団体食 周辺店舗紹介可
備考 大型バス駐車可(有料)

体験の流れ
①まちづくりの仕掛け人・辻晃一さんのトーク
②古民家ホテル、美濃和紙ショップの見学
③町並み散策+「美濃和紙あかりアート館」見学

遊ぶ=学ぶ=暮らす=働く
イマドキ猟師の働き方を体感しよう

体験-郡上2
⇒本冊 ⑫ページ

多面的な活動で里山を保全!「半猟半X」
で里山の資源と魅力を最大化せよ



会場 郡上八幡リバーウッド
オートキャンプ場
定員 最大30名程度
(体験により変動あり)
所要時間 2時間~6時間
(内容により調整可能)
団体食 体験に食事を含む
備考 無料駐車場あり

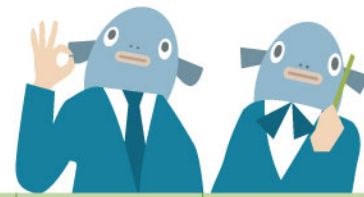
体験の流れ
①現役猟師による里山保全&狩猟トーク
②けもの道トレッキング&プチ狩猟体験(罟&銃)
③鹿の解体~ジビエBBQ

金額の目安 ● 旅マエ講演...2万円~ ● 旅ナカ体験...1,000円~4,000円程度/人 ※人数や体験内容によって変動します

授業づくりに向けて

コマ数別 授業モデルのパターン紹介

授業の進め方は、学校の状況に合わせてカスタマイズが可能です



ページ構成	宿題OKワーク	標準コース	旅アトじっくりコース	宿題あわせてコース
はじめに ②③ページ				
長良川流域とサステイナブル・ツーリズム ④⑤ページ				
旅マエ学習 流域の4市を知ろう ⑥～⑬ページ				
旅マエ学習 もっと旅のイメージを膨らまそう ⑭⑮ページ				
ページ構成	宿題OKワーク	標準コース	旅アトじっくりコース	宿題あわせてコース
		4コマ	6コマ	3コマ
旅マエ学習×旅ナカ学習 学びの準備をして旅に出よう #1 長良川流域について調べよう ⑯⑰ページ	旅マエワーク 1, 2, 3	1コマ目	1コマ目	宿題 1コマ目
旅マエ学習×旅ナカ学習 学びの準備をして旅に出よう #2 野生の起業家に話を聞こう ⑱⑲ページ	インタビューシート	2コマ目	2コマ目	宿題
旅アト学習 長良川での体験 ふりかえり ⑳ページ		3コマ目	3コマ目	宿題 2コマ目
旅アト学習 「人」との出会い ふりかえり #1 ㉑ページ	旅アトワーク 3, 4		4コマ目	宿題
旅アト学習 「人」との出会い ふりかえり #2 ㉒ページ	旅アトワーク 6, 7		5コマ目	宿題 3コマ目
旅アト学習 「自分」のふりかえり ㉓ページ		4コマ目	6コマ目	

学校の状況により、取り組む内容や使う時数を設定してください。

取り組みパターン

- 当日に体験するサステイナブル・ツーリズムのプログラムを決める
 - 当日にまわるコースをグループごとに決める
 - 旅の中で訪問するエリアについて事前に情報を集め、レポートなどにまとめる
- ★当日の宿泊先や、コースのまわり方など、具体的なご相談はORGANまでお問合せください。

ワークページ(⑯～㉓ページ)の使い方

旅マエ×旅ナカ学習

旅に出る前に旅マエワーク欄を事前に埋めておく、現地に備えて学びが深まります。現地でメモを取れるよう、当日はワークブックを生徒に持参させてください。



自由な形式でまとめられるよう、余白部分は大きめにとってあります。箇条書きでもイラストでも、文字の大きさを含め、余白の使い方は学校・生徒ごとにご自由にお使いください。

旅アト学習

旅マエワーク同様、回答欄の埋め方は自由です。



旅から帰ってきた(旅程をすべて終えた)あとに旅アトワークで振り返ることでただ「楽しかった」で終わらず、現地での学びを自分自身の学びにすることができます。

◎適宜、宿題・自主学習と組み合わせでご活用ください。

授業案〈標準コースの例〉

1コマ目 旅マエ×旅ナカ学習

学びの準備をして旅に出よう#1 長良川流域について調べよう ⑯⑰ページ

- 4分** 旅マエワーク1～3(⑯⑰ページ)の内容を説明します。
※生徒には、宿題として事前にワークブック(②～⑬ページ)を読み込み、長良川流域について学んでおいてもらえると良いでしょう。
※今後、グループ活動(話し合い、発表など)を行う予定があれば、この段階でグループを作っておくと良いでしょう。
- 46分** 長良川流域での旅に向けて、生徒が各自で情報を集め、気になったことや現地で確かめたいことなどを、旅マエワーク1～3(⑯⑰ページ)の項目に書き込み、現地での体験やインタビューの準備をします。その際、旅ナカMEMO欄は、現地で書き込むことも伝えておきます。

2コマ目 旅マエ×旅ナカ学習

学びの準備をして旅に出よう #2 野生の起業家に話を聞こう ⑱⑲ページ

- 5分** 当日に体験するサステイナブル・ツーリズムのプログラムの内容や、当日に話を聞く野生の起業家について説明します。また、インタビューシート作成ワーク(⑱⑲ページ)の内容を説明します。
- 35分** 生徒は、現地でのインタビューの準備をします。本ワークブックの他、インターネットや書籍等の媒体を活用しながら、各自でインタビューシートの各項目を書き込みます。その際、旅ナカMEMO欄は、現地で書き込むことも伝えておきます。
- 10分** インタビューシートの内容を、近くの人と話し合ったり、クラス全体で発表して共有します。
※時間に余裕があれば、実際のインタビューを想定した練習、記事や関連するWebサイト等を読む時間にするのも良いでしょう。また、インタビューをする時に気をつけることなども確認できると良いでしょう。

3コマ目 旅アト学習

旅を振り返ろう!長良川での体験 ふりかえり/ 「人」との出会い ふりかえり #1 ㉑②②ページ

- 5分** 旅アトワーク1～5(㉑②②ページ)の内容を説明します。
- 45分** 生徒は、長良川流域での体験を思い出しなが、旅アトワーク1～5(㉑②②ページ)の各項目を書き込みます。書き込んだ後は、グループ内で発表したり、クラス全体で発表できると良いでしょう。
※旅アトワーク1をグループで行う場合は、ワーク部分を拡大印刷したものを事前に準備しておき、グループごとに付箋を配布して、みんなで書いて貼っていく方法もあります。

4コマ目 旅アト学習

「人」との出会い ふりかえり #2/ 「自分」のふりかえり ㉒②③ページ

- 5分** 旅アトワーク6～9(㉒②③ページ)の内容を説明します。
- 30分** 生徒は、長良川流域の野生の起業家と自分を重ねて、旅の振り返りをしながら旅アトワーク6～9(㉒②③ページ)の各項目を書き込みます。
- 10分** 生徒は、グループ内でそれぞれの【自分の今後を見据えてやりたいこと】(旅アトワーク8、9)を発表します。
- 5分** 最後に、ワーク全体や長良川での旅をまとめます。まずは生徒が宣言したことを行動に移せるように、生徒の背中を押すコメントをして授業終了です。
※宣言をより実行しやすい環境にできるよう、クラス内の掲示物にするなどしても良いでしょう。